

Contents

❖ 産学金官連携の強化に向けて	1
❖ 活動報告(1～2月)	2
❖ H24年度国際産学官連携戦略シンポジウム	2～3
❖ 産学連携商品紹介	3
❖ これからの活動(イベント)情報	4
❖ コーディネーター紹介	4
❖ 編集後記	4



産学金官連携の強化に向けて

東広島市産業部長 石丸 敏和
(東広島市産学金官連携推進協議会会長)



東広島市では、新産業創出の促進を目指し、産学官連携を推進するための組織として、平成20年度に広島大学や商工会議所等とともに「東広島市産学官連携推進協議会」を設立し、産学官マッチングイベントや研究室訪問事業、リカレント講座、「東広島発！ものづくり逸品認定」など、様々な交流基盤の整備に取り組んできました。

しかしながら、昨年度見直しを行った本市産業振興の指針となる「東広島市産業活性化方策」の策定のための企業アンケート等においては、大学等との連携が難しい理由として「連携すべき相手が分からない」という回答が思いもよらず多かったことや、これまでの幅広い交流基盤の構築も共同研究などの具体的なアクションに十分に結びついていないことなど、改めて多くの課題が浮き彫りになりました。こうした状況に対応していくため、今年度から協議会に金融機関を会員に迎え、その名称を「産学金官連携推進」に改め、金融機関が有するネットワークを融合するとともに、技術課題から経営課題の解決まで幅広く対応できるよう機能・体制を強化しています。

また、本市の成長の担い手となる中小企業では、調達・生産・販売などで様々な課題を抱え、新事業展開においても研究開発後の市場化までに克服すべき課題が山積している現状を踏まえ、新たに、経営課題の解決に向けた企業間連携の促進や研究成果を市場化に繋げるための一貫した支援を図っていきたいと考えています。

本市の自立のかつ持続的発展のためには、集積する大学等の知的資源を最大限に活かし、イノベーションが継続して生まれる環境づくり・仕組みづくりを進めていくことが大切であり、こうした産学金官連携をベースとして、チャレンジする中小企業等を積極的に支援し、地域産業の競争力の底上げに取り組んでいきます。

そのためにも、企業には、成長産業への新たな進出も含め、製品・技術の高付加価値化を精力的に追求してもらいたい一方で、大学には共同研究開発の企業ニーズを把握するための主体的な取り組みを、より一層期待しており、市としても、引き続き産学の連携に積極的に関わっていきたいと考えています。



Report 1 地域企業若手技術者向けイノベーション研修プログラム

第18回(1月15日)の講師は、工学研究院の關谷克彦助教。
「切削加工条件選定とトラブル対策の考え方」と題して、切削加工の基本的事項を利用した加工条件選定やトラブルシューティングについての講義を行い、切削加工についての知識を深めていただく機会となりました。
第19回(2月12日)の講師は、真鍋幸男客員教授。
「溶接・接合技術のトピックスと基礎I」と題して、ものづくりの基盤技術として不可欠である、溶接・接合技術について、最新技術のトピックスと産業分野への応用例を紹介するとともに、レーザー、アーク、スポット溶接他の接合プロセスの原理と特徴の解説を行いました。(Y.Y)



Report 2 第7回研究紹介と交流のゆうべ 開催報告

平成25年1月17日(木) 17:30より、ひろしまハイビル21(広島市)にて「第7回研究紹介と交流のゆうべ」を開催致しました。
地元中小企業の皆様に大学の普段の活動をご紹介することを目的として、今回は「デザインの役割ーデザイン思考でうまれる、売れる商品」というテーマで、教育学研究科造形芸術教育学の江崎哲教授に講演をして頂き、その後江崎先生も交えての交流会を行いました。
27名の参加者の皆様には、第一部はデザインの役割についての紹介を熱心にご清聴頂き、また第二部では非常に活発な交流を行って頂きました。
今後も皆様のお役に立てるよう、有意義なプログラムを企画して参りたいと思いますので、奮ってご参加下さい。(F.O)



このページでは、企業と広島大学との共同研究の結果、商品化につながったものを紹介して参ります。

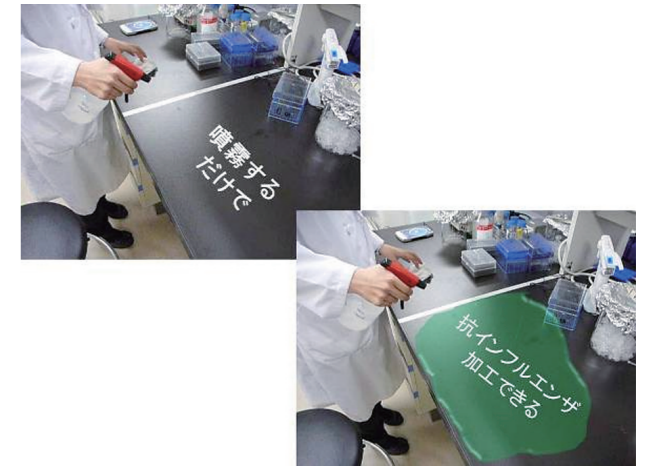
Etak in フルプロテクションZERO 固定化消毒薬成分 Etak

広島大学大学院 医歯薬保健学研究院の二川浩樹教授が考案し、(株)マナックが化学合成を行った新しい固定化消毒剤です。(株)CampusMedico から実施許諾を受け、ジェクス(株)が2009年12月から、業務用として発売しています。表面に噴霧または塗布するだけで、消毒すると同時に消毒剤が固定化されるので、室温・数分間で抗菌・抗ウイルス加工ができます。加工された表面は、トリ・ヒト・新型インフルエンザウイルス、ノロウイルス、アデノウイルスやマイコプラズマ、バクテリアを持続的に殺菌します。



産学連携商品紹介

- 商品情報**
2009年12月発売
2Lと5Lの業務用があります。(価格はオープン価格)
- 関係機関・研究者**
(株)CampusMedico、ジェクス(株)、広島大学(二川浩樹教授)
- 問い合わせ**
ジェクス(株)
<http://www.jex-inc.co.jp/>



次回以降、会員企業様の紹介記事の掲載を検討しています。掲載をご希望される会員企業様は、E-mailにてご連絡下さい。E-mail: techrd@hiroshima-u.ac.jp

H24年度国際産学官連携戦略シンポジウム ～イノベーションを支える大学の国際産学官連携活動と自立化に向けて～

文部科学省イノベーションシステム整備事業 大学等産学官連携自立化促進プログラム【機能強化支援型】「国際的な産学官連携活動の推進」事業の一環として、1月31日に広島市内にて約100名の産学官の参加者を得て国際産学官連携戦略シンポジウムを開催しました。

事業最終年度である本年度は、浅原利正学長挨拶に続き、文部科学省石田雄三室長補佐(科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課 大学技術移転推進室)、大阪大学 理事補佐 正城敏博教授、グローバル・メーカーである独シーメンス社 Dr. Helmut Wenisch、米大手医薬品メーカーであるメルク社の日本法人 玉田寛博士にご講演頂き、広島大学からは社会連携 中野が国際産学官連携活動の成果と課題、今後の方向性について報告しました。文部科学省からは有益なコメントを頂き、同様に国際産学官連携活動を推進する大阪大学からはユニークで大規模な取組のご報告、また初めてお招きした企業の講演者からは産の視点から日本の大学の問題点や期待を聞くことがで

き、今後の活動に大変参考になりました。もうひとつのハイライトは「国際産学官連携活動の更なる発展と自立化に向けて」と題するパネル・ディスカッションを行い、澤俊行産学・地域連携センター長をモデレーターとして講演者同士及び参加者との活発な意見交換が行われました。5年間で築き上げたインフラ、蓄積したノウハウ・人材をフルに活用して、「地域から国際まで」グローバルな産学官連携活動を更に推進する所存です。本シンポジウムのご講演者、参加者の皆様に深く御礼申し上げるとともに、今後とも地域企業の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。(H.N)



文部科学省 イノベーションシステム整備事業
大学等産学官連携自立化促進プログラム【機能強化支援型】
「国際的な産学官連携活動の推進」

広島大学

平成24年度
国際産学官連携戦略シンポジウム
～イノベーションを支える大学の国際産学官連携活動と自立化に向けて～

日時 平成25年1月31日(木) 参加費無料:定員100名
13:00~17:15 シンポジウム 17:30~19:00 情報交換会(会費 4,500円)

会場 メルバルク広島 6階「平成」 対象者 大学・高専の教職員、公的機関及び一般企業の方

主催:国立大学法人 広島大学
TEL: 082-424-6189 FAX: 082-424-6189
E-mail: techrd@hiroshima-u.ac.jp

これからの活動(イベント)情報

産学官連携推進研究協力会の今後の活動予定をお知らせいたします。
ご興味をお持ち頂けたイベントにはぜひご参加下さい。

3月

1 地域企業若手技術者向けイノベーション研修 (第20回) 「溶接・接合技術の基礎Ⅱ」

日時 3月11日(月) 17:00~19:00 場所 産学・地域連携センター VBL オフィス
講師 広島大学客員教授・NPO 法人 ATAC ひろしま コーディネータ 真鍋 幸男

2 第8回 研究紹介と交流のゆうべ

「身体運動の科学 — スポーツのメンタル、スキル、フィジカル —」

日時 3月12日(火) 17:30~19:00 場所 ホテル広島ガーデンパレス(広島市) 2F「華」
講師 総合科学研究科 磨井 祥夫 准教授 費用 会員：無料、一般：1,000円

4月

1 地域企業若手技術者向けイノベーション研修 (第21回) 「軽金属材料の構造・組織と特性」

日時 4月8日(月) 17:00~19:00 場所 産学・地域連携センター VBL オフィス
講師 工学研究院 佐々木 元 教授

これらの情報は、HPをご覧ください。 <http://www.hiroshima-u.ac.jp/sangaku/>

産学官連携推進研究協力会についての入会方法および活動情報の URL は
<http://www.hiroshima-u.ac.jp/sangaku/kyouryokukai/> をご参照ください。

■ コーディネーター紹介 no.09

企業の皆様からのご相談に対応する、産学官連携コーディネーターを紹介致します。第9回は山岡秀明氏。



山岡 秀明 Hideaki Yamaoka

担当業務：技術相談、教員紹介、共同研究受入れ、公的資金募集相談

技術分野：医療・食品・生物 その他理科全般

職歴等：製薬企業出身

ひとこと：「誠実」がモットーです。ときどき息切れします。お許しください。

TEL：082-257-5757 Email: hyamaoka@hiroshima-u.ac.jp

編集後記

先日、実家の部屋の片付けをしていたら、読んだ本が大量に出てきました。今も続いているのですが、学生時代から週に1冊程度読んでいて溜まりに溜まったものです。本を処分しようと整理を始めたのですが、ついつい読みかえしてしまい処分が出来ないまま夜になり、元の場所に戻してしまいました。この本が整理されるのは、いつになることやら…… (F.O)



発行：産学官連携推進研究協力会事務局 (広島大学社会連携推進機構 社会連携グループ内)

〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 TEL：082-424-5673/FAX：082-424-6189/E-mail: syakai-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

お問い合わせ先：広島大学 産学・地域連携センター 国際・産学連携部門

〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 TEL：082-424-4302/E-mail: techrd@hiroshima-u.ac.jp